

2024.3.11



神戸大学震災文庫の取り組み

神戸大学人文学研究科
佐々木和子

はじめに

1995.1.17 阪神・淡路大震災

神戸大学：被災地の中にある大学

死者：学生39人（留学生7人）・職員2人 計41人

+ 学生5人（留学生1人）・研究員1人 計6人（旧神戸商船大、現海洋政策学部）



図書館被害：

書架の転倒

建物被害なし

電算システム被害なし

1月30日 一部開館

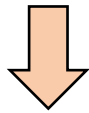
2月20日 書庫利用再開



3. 神戸大学震災文庫のはじまり

* 学外からの問い合わせ(1995.4初旬)

「今回の地震に関する資料を網羅的に見られるところはありませんか」



1995.4中旬 **網羅的に**集めようと思うが・・・ 社会科学系図書館 スタート
図書・雑誌だけでは全貌はつかめない

* チラシ・ポスター等（一枚もの資料）、ニュースレター・ミニコミ、抜刷、
レジメ、写真、ビデオ、録音等 ←
「震災に関するものは何でも」（モノ資料以外）

← 震災時の情報伝達手段・多様化

従来の図書館の枠組みを一步こえた資料収集

「分限をこえる」= ボランティア（外岡秀俊『地震と社会』1998）

1995.10.30 神戸大学震災文庫 一般公開開始

○ボランティア関係資料

発行者や連絡先が不明なものが多い

被災地で印刷・頒布・掲示（残部がない）

配布先や作成場所に地域性/紙質・印刷状態が悪い



収集方法

- ①新聞、雑誌の記事で刊行された情報を見つける
- ②記事で見つけた情報から連絡先を検索
- ③連絡先に記事等を添付して寄贈依頼
- ④1部でも入手したら現物から発行者の情報を特定
- ⑤前後の資料及びこれからの継続送付を依頼

* 阪神大震災地元NGO救援連絡会議文化情報部と連携

3. 震災文庫とデジタル化

1998年

前提

○目録リストのWeb上公開

「網羅的に収集」？ = 職員手探り・市民??

・メディアへの積極的広報

・1995.7「収集速報」を（リストのみ・検索機能なし+冊子版）

○「震災ライブラリーネット」データ公開

阪神・淡路大震災復興支援館 県内14機関の一元検索の試み

⇒各館の記述、書誌データのずれ・バラつきの存在

紙媒体、データベース ⇒ 1回更新のみ

○一枚もの資料のデジタル化

← **著作権処理**

電子図書館構想への採択

1998年 第一次補正予算

1999年2月 稼働

メタデータ（データに関して記述したデータ）作成へ
ダブリンコアのメタデータ（15要素）
+ 震災文庫独自データ 寄贈者名、請求記号等

◇ 予算

1995年度～1997年度

神戸大学学内経費

1999年度～2004年度

科学研究費補助金 デジタル化の推進

一枚もの資料

神戸
元気村 災害復旧隊

内容

倒れかけの家の片づけ、手直し、雨どりの修理、道路のガレキの片づけします。無料!!

(これは無償とあるとめるのは早いです。知らせて下さい。そ、と古役に使えます。)

受付・直接現地に来てください!!

神戸市 灘区 鶴甲町 1-2-33

元気村 本部 030-61-00291
(石塚川公園内)
朝 9時 から 21時 まで 受付中!!

受付場所図

1/15/2011 15:57:11

どんなのでも とくこい部

担当/居田

おこなうのから 大まかなの... (with a drawing of a person)

神戸大学震災文庫所蔵

(0-4) 1995 UN Kobe Univ Ex-Research

合格おめでとう!

センター試験の直後の大地震から早50日以上たちました。神戸大学を受験するのを一時は迷った人も、ここぞと頑張った人もみんなみんな神戸人ですね。神戸は今決しておしゃれな町ではありませんが、新たな活気の生まれてきた町です。私たちは災害からこれまでにいろんな活動をしてきました。

①市民パトロール
非難所に入らずに公園などでテント生活している人へ物資や人手の提供や情報交換。時には軽食をもらったり、今まではなら出会えなかったであろう人達との交流が生まれました。

②避難前炊き出し
J・R西方面は避難まで開通しました。軽い炊き出しなどをを行い会話する中から、今、人々がどんなことを考えているのかなどの情報を収集します。

募集中心

③仮設風呂の運営
学内に避難している人に設置されている仮設風呂の運営(お湯たき・薪割り・改修工事...)のお手伝いをしています。なかなかの肉体力労働ですが、はまってしまいう人もいます。

④寺子屋
学内に避難している小学生と勉強、レクリエーションなどを一緒にしています。始めはおとなしかった子供もすぐにやんちゃに、、、六甲山に遠足にも行きました。

神戸市灘区鶴甲1-2-1
神戸大学国際文化学部
II課程サークル連合BOX気付

神戸大学学生震災救援隊

問い合わせ
・申し込み先

TEL・FAX: 078-881-4755

ボランティア資料

「ボランティア元年」

ボランティア資料の問題点
個人情報を含む資料

→震災文庫での公開を希望
ボランティア団体に判別
を任せる

→公開可能なものだけを預かる

やったことを記録に残す

ボランティア
記録シンボ

ボランティア 大集会

日時：5月13日（土） 午後4時～7時
場所：神戸市外国語大学・大ホール
（市営地下鉄学園都市駅下車すぐ）

目的：

- 1、ボランティア活動の記録保存の必要性を啓発すると同時に、その方法一何を／どこに／どのように・残すかーについて討議する。さらに、「記録・保存」活動への今後の協力・連携体制を探る。
- 2、これまでの個人および団体の活動記録を持ち寄り、阪神・淡路大震災のボランティア記録として1つにまとめることを呼びかける。

問い合わせ先：

阪神大震災地元NGO連絡会議「震災・活動記録室」
〒650 神戸市中央区栄町通4-3-5 毎日新聞神戸ビル3F
TEL:078-362-5951（代）
FAX:078-362-5957
E-mail:nqoteam@mb.osaka.infoweb.or.jp

当日のボランティアも募集しております。（50名）

5月10日（水）までにご連絡ください。
定目になり次第締め切ります。
★宿泊設備、記念品あります。

著作権処理の処理

参考：

「視覚障がい者のための図書の音読サービスのための著作権処理」
マニュアル（点字図書館）

著作権者一人ひとりと著作権処理をするため

⇒

- ①著作権承諾の依頼文書の作成
- ②依頼主が著作権者（あると思われる）「一枚もの」リスト
- ③許諾の有無を記入してもらうための返信用はがき同封

← 波及効果

資料再度見直し・価値の認識、他の資料の提供

肖像権ガイドライン

表1 ポイント計算リストから作成（第3版、2020年4月）

- 1 被撮影者の社会的地位：
一般人（±0）、公人（+20）、**16歳未満の一般人（-20）**等
- 2 被撮影者の活動内容
1 活動の種類；公務、公的行事、歴史的イベント（+20）等
2 撮影者の立場：**業務・当事者としての参加（+5）、私生活・業務外（-10）**等
- 3 撮影の場所：
公共の場（+15）、自宅内・避難所内（-10）、病院・葬儀場（-15）等
- 4 撮影の態様
1 写り方：多人数（+10）、特定の人物に焦点をあてず（+10）、大写し（-10）
画質が悪く容ぼう・姿態を判別しづらい（+10）
2 撮影状況：承諾の意思表示（+5）、撮られた認識なし（-10）、拒絶の意思（-20）、公開を前提としないプライベート撮影（-10）等
3 被写体の状況：遺体・重傷（-20）、一般的に羞恥をおぼえる状況（-5）
- 5 写真の出典：
刊行物等で公表された写真（+10）、作品として展示・公表された写真（+5）、遺族が存在しない故人に関する写真（+30）、代替性のない写真（+10）等
- 6 撮影の時期：
撮影後30年経過（+20）、撮影後20年経過（+10）等
- 合計 0点以上：公開可、
1～-15：公開範囲を限定（館内等）、マスクング
16～-30：厳重なアクセス管理（事前申込の研究者の閲覧）、マスクング
-31：マスクング

太字下線は、第4版・公開版から付加

サンテレビ映像

- ①放送に使う前の素材テープ
- ②録画時間が短い

→ 映像中顔が出てきたところでいったん止めて、ガイドラインに合わせて判別

番号	社会的		活動内容		場所			撮影態様			公開	経年*	得点	判別	備考
	1	2-1	2-2	3	4-1	4-2	4-3	5	6						
1	0	20	-10	0	-10	5	0	10	10	25	可	公共の場か自宅内か			
2	0	20	-10	0	-10	5	0	10	10	25	可	公共の場か自宅内か			
3	0	20	-10	0	-10	5	0	10	10	25	可	家屋の倒壊			
4	0	20	-10	15	10	-10	0	10	10	45	可				

*当初、撮影の時期を「撮影後20年経過（+10）」で計算

(参考) 震災文庫

震災文庫トップページアクセス数(2022年9月にシステム更新あり)														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2021年度	1,015	889	894	1,048	1,320	972	1,087	1,096	1,018	1,494	967	934	12,734
	2022年度	783	886	1,018	943	850	968	752	468	567	1,565	705	1,774	11,279
	2023年度	586	708	659	597	653	721	696	912	988	2,346	915		9,781
震災文庫メタデータ詳細画面アクセス数(2022年9月システム更新以降の集計)														
	2022年度					715	2,809	1,615	795	1,490	5,987	1,776	1,373	16,560
	2023年度	1,160	1,671	1,292	1,196	1,133	1,058	4,042	10,591	12,495	25,494	15,444		75,576

	2004	2010	2015	2023
図書資料	5,292	6,771	7,769	9,196
雑誌資料	10,783	12,516	13,593	16,818
新聞・広報紙資料	10,436	15,150	18,277	8,060
パンフレット等	4,469	5,629	6,084	4,095
一枚もの資料	5,180	6,037	6,813	3,432
写真資料	82	90	112	7,969
地図資料	132	132	137	162
動画資料	189	265	307	713
音声資料	67	93	103	266
コンピュータファイル	66	86	93	6,147
www		7	10	
合計	36,696	46,776	53,298	56,858

デジタル公開件数

2002年 約3000点、
2013年 約5000点

2023年 約12800点

2009:人と防災未来センター資料室図書資料と横断検索

2012:兵庫県立図書館と横断検索

2013 :国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）と連携

位置情報



メタデータID	0100051947
資料種別	still image
タイトル	戒町公園あたり
作成者	作成者名 大木本, 美通 オオギモト, ヨシミチ
収録物名	震災記録写真No.1 (1995年1月~3月)
出版者	神戸大学附属図書館 (制作)
発行日	1995-01-17 2002
権利情報	Copyright (c) 1995 大木本美通 本資料の2次利用には事前の申請が必要です



戒町付近 (須磨区)

詳細を非表示

その他のタイトル	震災当日、出勤途中で板宿～大開まで。[朝妙法寺の家を出て三宮に向かう途中(カメラを担ぎ徒歩で)。朝というのに全体が暗い。夜が明けない感じで不安であった。街の音も消え、実に静か]
出版地	神戸
発行国	ja
位置情報	位置情報 (点) 経度 135.1364125 緯度 34.659441 位置情報 (自由記述) 板宿駅東側地区 須磨区/戒町/1丁目
分類	1. 地震災害一般

ホームへ戻る

印刷へ戻る

大木本美通資料 (写真)
1995.1.17

震災当日、出勤途中で板宿～大開まで。[朝妙法寺の家を出て三宮に向かう途中(カメラを担ぎ徒歩で)。朝というのに全体が暗い。夜が明けない感じで不安であった。街の音も消え、実に静か]

お問い合わせ

2次利用について

附属図書館

神戸大学震災文庫より

Copyright © Kobe University Library All rights reserved.

これから

- ◇より使いやすい震災文庫へ
ユーザーとの対話の中で
英語キャプション等の付与
サンテレビ映像の公開
- ◇二次利用条件の見直し
CCライセンスの適用（2019～）
二次利用条件の事前確認
- ◇授業・展示等への活用
- ◇未刊行資料への対応
大学教員からの寄贈
文書館（アーカイブ）的資料
- ◇媒体変換の継続

